

## ご挨拶

「パソコン郵趣切手展2026」へようこそ。

この切手展は、当研究会の活動として2000年9月からほぼ毎年開催してきたものです。本年も無事開催の運びとなりました。参観者、関係者の皆さまの暖かいご支援によるものと感謝を申し上げます。

展示作品は、会員の郵趣へのICT（情報通信技術）活用の成果であり、リーフ作りや調査研究、情報収集、コミュニケーションやコレクション収集などにパソコンをはじめとしたICT技術を利用しています。会員の成果をご鑑賞ください。

パソコン郵趣研究会

## 《 出品者と 展示内容 》

### 「科学切手小ネタ集」 1フレーム

安部浩司

このような「切手を見せる展示」の形態に「1リーフ展」というものもあります。文字通り一つのネタを1リーフに落とし込む、謂わば切手展示の一発芸大会と言ったところ。ところが一回出したら後は出番無いというケースが多々。そんな味があるけど可哀想な奴らを1フレームに詰め込んで見ました！ 脈絡は無いですがご覧いただければ幸いです。なお科学系ばっかですw

<https://sciencestamp.jp/>

### 「100にちなむ切手百選」 2フレーム

内田雄二

1926年12月25日に昭和が始まって今年が満100年になります「100年」や「100回」など「百」にちなむ記念切手を集めて並べてみました。驚いたことに発行目的別で100種類を超えたのでタイトルに「百選」を追加。作品作成にあたり、6年前に発売されたさくらカタログのCD-ROM版を利用し検索できたのは便利でした。

### 「戦前ドイツのテートベッシュ」 1フレーム

鈴木敏之

テートベッシュ(tête bêche)とは、隣り合う切手の向きを変えて印刷された状態を意味しています。ドイツの切手でも多くのテートベッシュが発行されていますが、今回は戦前ドイツのテートベッシュをカタログ順に展示しました。

### 「庭作り虫」 3フレーム

澤口尚子

フランスの昆虫学者ファーブルは『昆虫記』に、オサムシは蝶蛾の幼虫でもナメクジでも見つけ次第殺して食べてしまうので「庭の番人」「庭作り虫」の名前が与えられ菜園と花壇はこの虫に守られている、と書いています。害虫退治、授粉など陰ながら庭作りを手伝ってくれている多くの昆虫たちのことを知っていただければと思います。

<http://www.ne.jp/asahi/nao/beautiful-gallery/>

### 「べらぼうの時代」 2フレーム

内田雄二

昨年のNHK大河ドラマ「べらぼう」を切り口にして作品ができないか模索した結果です。切手の中に蔦屋の商標が入っているのを見つけた時は嬉しかった。こんなテーマでもなんとか作品にまとめることができました。ドラマをご覧になった方は思い出しながらご覧ください。さくらカタログのCD-ROM版を活用して切手を選びました。

### 「繊維の芸術（刺繍・レースなど）」 1フレーム

柴田公子

繊維関係を深めている中で単なる衣類ではない刺繍やレース編みの各国の素晴らしい切手に出会っています。刺繍の原点は古代エジプト、また、レース編みは中世期の西欧・東欧の修道院から発展したと言われています。近年は刺繍切手・レース切手の発行も多くなっています。美しい切手たちを楽しんでいただけたら嬉しいです。

### 「多種多様な郵趣材料で楽しむ名画」 4フレーム

江村 清

本作品は日本画・西洋画の「一枚の名画」を多種多様な郵趣材料を用いて、各種サイズ（シングル・ワイド・ダブル）のリーフに収め、角度を変えて「名画」を楽しもうというものです。なお、展示する「名画」は絵画切手研究会員が選定したBEST50 絵画などから選定し、歴史順に展示しています。

### 「日本の変形切手」 1フレーム

鈴木敏之

日本で最初の変形切手は1961年に発行された菱形の東京オリンピック切手です。1995年にシール式切手が初めて発行され、これにより切手のデザインは自由になり、多くの変形切手が誕生しています。

[o-kids@jcom.home.ne.jp](mailto:o-kids@jcom.home.ne.jp)

### 「切手の中の北海道」 4フレーム

志賀 格

『切手の中の北海道』（北海道新聞社刊）はJPS札幌中央支部会員の北林利仁さんが1995年に出版された一般向けの書籍です。本のレイアウトを再現させながら、切手展のフォーマットに合わせるとどうなるだろう、というのが今回のチャレンジになります。

### 「旅先で押した風景印(&写真撮影)」 2フレーム

湯浅英樹

旅行先で郵便局に寄り、風景印のデザインに合わせた切手に風景印を押印。そして郵便局巡りのついでに風景印に描かれた題材に寄り、写真撮影もしています。2025年～2026年に風景印押印・写真撮影したものを紹介いたします。

<https://yu-runki.hatenablog.jp/>

### 「ポストクロッシングで楽しむ郵便 2025-26」 1フレーム

亀城雅子

世界各国の見知らぬ相手に絵はがきを送りあうポストクロッシング(<https://www.postcrossing.com/>)で届いた印象的な郵便を紹介し、素敵な切手とはがき、消印と、郵便トピックスなど。残念なことには今も、日本から航空郵便が送れない国が30数カ国あります。

## 「きらきら光る ～ホログラム切手～」 2フレーム

櫻井多加志

小さな切手の枠内に広がる、光と科学の魔法を体感しませんか？本作品では、1988年発行のオーストリアによる世界初のホログラム切手から近年の趣向を凝らした一枚まで、幅広くご紹介します。宇宙や動物など多彩なテーマが、見る角度を変えるたびに鮮やかに動き出します。偽造防止技術が生んだ、奥行きある「光の彫刻」の数々をぜひお楽しみください。

## 「ゴルフを究める ～知識のトッププレイヤーを目指して～」 4フレーム 江村 清

本作品は、ゴルフの起源と歴史、ゴルフ場と環境、ゴルフの概念、ゴルフの魅力とマナー・ルール、ゴルフの実践、競技ゴルフについて展開しています。ゴルフを究めるだけでなく極めたいと願いますが、私の心技体では遠く及ばず、郵趣面でもその域には達していないことから、「ゴルフを究める」としました。

## 「郵便事業株式会社時代切手～紫外光下でも観る～」 1フレーム 清水政男

平成19年10月から平成24年9月末まで存続した郵便事業株式会社時代に発行された切手を、普通切手中心にまとめました。この時代の切手は、従来にない新しい試みがなされていて、特に短波長紫外線ライト下で観察をすると、自然光下ではわからない興味深い様子が見られます。

## 「Finland FDC」 1フレーム

櫻井多加志

Finland切手の初日カバーを2000年代のカラフルなデザインの切手を中心に展示します。

## 「stampalbums.com活用例」 3フレーム

櫻井多加志

パソコンを使ったアルバムリーフ作りは、自作ばかりではありません。インターネットで入手できるデータを活用したアルバムリーフを活用した例を展示します。単純にそのまま使うほか、枠だけのデータを使う、表紙ページにカバーを入れる、などの工夫をご覧ください。

### ・・・記念小型印について・・・ デザイン・澤口尚子

第1回に登場したパソコンのマウスと組み合わせたネズミは「マウチュー君」という愛称をいただき、会のマスコットとなりました。今回はパソコンで顔認証、スマホで指紋認証をしています。



小型印申請図

## ☆パソコン郵趣研究会からのご案内☆

東京例会：毎月第4土曜日 午後（16時30分～18時）  
切手の博物館 3F会議室（オンラインのみもあり）  
オンライン（Zoom）での参加も可

切手のつどい：STAMP-SHOW・JAPEX会場にて開催（近くの定例会は休止）  
メンバーリスト：研究会員でインターネットを使える人は利用可能です。  
年会費（運営負担金）：研究会報 郵送会員 3000円 PDF版ダウンロード会員 1500円  
連絡先：研究会役員宛て e-mail:webmaster@philapc.org  
代表 櫻井多加志 e-mail:cherryh-tks728@ba2.so-net.ne.jp

# パソコン郵趣切手展 2026



会期：令和8年3月21日(土)～22日(日)  
10:30～17:00（最終日16:00）  
会場：東京 目白 切手の博物館3Fスペース1&2

公益財団法人  
日本郵趣協会 **パソコン郵趣研究会**

<http://www.philapc.org/>

